

議員

諸先輩方と相談しながら考えていきたいと思えます。その際には、前向きな御検討よろしくお願ひいたします。今期最後の質問ということで思うのは、これから先の山武市のことでございます。ぜひすばらしい山武市、持続可能な山武市とするために御尽力をお願い申し上げます。

個人質問



小川 一馬 議員

●通学路の安全確保について

Q 通学路の現状を伺います。

A 教育部長 危険な通学路箇所について、平成23年1月の調査で市内小学校11校から72カ所の危険箇所が報告されました。内容は、民家が少ない、道幅が狭い、歩道がない、見通しが悪い、

スピードを出す車が多い、木が多く暗い、交通量が多い、横断歩道がないなどでした。

Q 緑海小学校PTA会長から千葉県知事あてに、歩道橋設置の嘆願書が提出されたそうです。学校やPTAの声に教育委員会にも届いていないと思いますが、どのように対応したのか伺います。

A 教育部長 教育部として、14名の児童が通学路として使用していることから、嘆願書の内容を確認した上で、市の土木課と山武地域整備センターと協議したが、思ったような成果が得られていない状況です。

Q 歩道橋の整備について、市長の考えを伺います。

A 市長 人身事故を1つの事例として改善をお願いしました。嘆願書の内容、子供たちの作文という形もありましたので、新たに県当局に強い要請をしていきたい。

Q 県に要望した内容と県からの回答を伺います。

います。

A 市長 飯岡一宮線の早期工事着工についての要望活動の中で、この問題を取り上げました。

Q 都市建設部長 市長が要望した内容は飯岡一宮線バイパスの架橋のことで、県の整備部長から、買収に困難を要しているが事業については推進していきますという答弁があったように聞いています。

A 都市建設部長 緑海橋への歩道の設置については、平成23年度に交通安全対策事業として工事やってほしいと千葉県に要望書を提出しています。

Q 今ある緑海橋に歩道を作ることにについて、市長の思いを伺います。

A 市長 木戸川の架橋線バイパスに、新たに早く橋を作るように陳情を重ねています。その中で、



緑海橋

現在ある緑海橋は非常に危険であるということ、早期に危険回避の面からも、新しい橋をかけてくれないかと要望をしたところでは、

Q 飯岡一宮線の橋もバスにかかる橋と、緑海橋との両方をお願いするというのは、難しい話だと思いませんか。

A 都市建設部長 緑海橋への歩道の設置については、平成23年度に交通安全対策事業として工事やってほしいと千葉県に要望書を提出しています。

Q 飯岡一宮線の橋も1日も早く実現してほしい。また、毎日、子供たちも地元の人でも緑海橋を通るとき危険です。先に現在の緑海橋に歩道ができないものか伺います。

A 市長 木戸川に新しい橋をかける事より、現在ある緑海橋に歩道を作る方を優先すると理解してよろしいか。

Q 議員 別々に考えていただき

両方とも大事なことであると承知してあります。ただ、県事業として強い要望をするには、どちらかに集中してお願ひした方がいい。

Q 通学路の問題が生じたという事で歩道を作る方に力をいれるという理解でよろしいか。

A 議員 地元地域の方からすれば、必要度は両方あると思います。私は、両方とも重要と考えています。それを踏まえて検討していただきたいと思います。

Q 緑海橋周辺の方々も危険だと十分認識してあります。歩道を造ってもらいたいという強い思いがあります。市として説明会を開く考えはあるのか伺います。

A 都市建設部長 事業主体が県なので、地元の方々で、集まる機会を作っていたら市も参加するという形がいいと思います。

●地域振興の推進について

Q 平成26年は伊藤左千夫、生誕150周年です。山武市を広くPRするチャンスだと思ひますが、市長の考えを伺います。

A 市長 伊藤左千夫という日本の文学においても、大変重要な地位を占める郷土の文化人を顕彰するという意味でも、まちおこしにつながる方向だろうという提案を非常にありがたく受けとめたいと思ひます。

Q 国勢調査で山武市は人口減少が多い市町村の中で、3番目であり、人口減少、少子高齢化が非常に危惧されています。外からの流動人口を増やす政策は考えているのか伺います。

A 市長 人口減少の統計では、千葉県の太平洋沿岸地域すべて減少しています。一朝一夕に人口増加策は難しいと思ひますが、必ず策はあると思ひています。基本的には社会的な流入をどのように誘導していくかに主眼を置いています。